

最後に、貴重なる資料を提供された五十嵐氏に感謝する次第である。(北海道大学理学部植物学教室)

*Saussurea chionophylla* Takeda. Hab. Hokkaidô: Prov. Tokachi, in peridotite area in the cirque of Mt. Tottabetsu (Tsuneo Igarashi, Aug., 1953). Mt Tottabetsu is the second locality of the present ultrabasic saxophyte which has been known only on Mt. Yûpari of the Province of Ishikari, Hokkaidô.

### ○小泉秀雄氏採集の地衣類標本について\* (黒川 道) Syô KUROKAWA: On lichen specimens collected by H. Koidzumi.

故 小泉秀雄氏がさかんに地衣類を採集されたことは、あまり世間に知られていない。筆者は昨年(1956年)10月頃から国立科学博物館所蔵の未整理地衣類標本を検討してきたが、その間に小泉氏が生前に採集された多量の地衣類標本に遭遇した。梱包をひもとくほどに、氏の精力的な採集ぶりがうかがい知られ、驚嘆の声を発すること一再ではなかつた。氏の採集品の一部は安田先生のもとに送られ、そのなかから *Umbilicaria Koidzumii* Yasuda ex Sato (植研. 11:314, 1935) (甲斐・駒ヶ岳 Jul. 27, 1921 採集) が記録されたのは周知のことである。そして従来は、小泉氏と地衣類を関連づけてくれるものはこの一種類の地衣だけと考えられてきた。しかし、今やこの考えは改められなければならない。氏は顕花植物採集のかたわら、主に葉状および樹枝状地衣ではあるが、多量の地衣類をも採集されたのである。科学博物館所蔵の氏の採集品のなかからは、前記の *Umbilicaria Koidzumii* の立派な標本も多量に発見されたし、又、既に朝比奈博士(植研 32: 132, 1957) が報告された *Dermatocarpon Moulinsii* (Mont.) Zahlbr. も発見された。氏の採集品のなかにはこのような珍種・稀種が含まれているだけでなく、その標本の大部分は量的にも充分多量に採集された立派なものであり、又現状では容易に行くことのできない南樺太や千島での採集品も相当にある。思うに、小泉秀雄氏は偉大なる地衣類採集家でもあつたと云つて過言ではあるまい。そして、氏の採集品が氏の逝去後科学博物館に移管され、殆んど散逸することなしに今日まで保管されてきたことは誠に幸であつた。

さて、小泉氏の採集品は今後屢々利用されると予想されるので、氏の地衣類採集の足跡を年代順に辿つて表を作製してみた。この表は主として梱包の包み紙に記されていたものを整理して作ったものであるが、科学博物館標本室には「小泉秀雄 植物鑑定目録」と題する全 17 冊の顕花・隠花植物の採集および採集品に関するノートがあつたので、これを参照して出来るだけ修正した。ただし 1919 年以前の採集品については、ノートにも断片的にしか記入されていないので、包紙の記録に頼るほかなかつた。また、ノートに記録されているが、採集品の見当らないものもあるので、これは表中の地名に \* をつけて示した。不足や誤りもあるかと思うが、御教示を仰いで追々訂正してゆきたいと思つている。

なお、小泉氏の採集品が、今日までほとんど散逸・損傷することなしに保管され、ここに日の目を見るようになったのは、ひとえに国立科学博物館の小林義雄博士の御尽力によるものであつて、ここに厚く御礼を申し上げる次第である。

\* 資源科学研究所業績 第 843.

- 1906 年 (明治 39 年)  
 10 月 2 日 陸中・岩手山  
 1908 年 (明治 41 年)  
 5 月 1 日 北海道・旭川  
 某月 11 日 信濃・神居村  
 1909 年 (明治 42 年)  
 3 月 27 日 紀伊・十丈峠  
 8 月 某日 岩代・一切経山  
 1910 年 (明治 43 年)  
 5 月 某日 紀伊・西牟婁・新庄村  
 1911 年 (明治 44 年)  
 7 月 7 日 大雪山; 30 日 紀伊・西牟婁・秋津川村  
 8 月 10 日 武蔵・三峰山  
 1913 年 (大正 2 年)  
 8 月 19 日 大雪山・松山温泉  
 1914 年 (大正 3 年)  
 5 月 下旬 北海道・旭川, 大雪山  
 8 月 4 日 大雪山・旭岳  
 1915 年 (大正 4 年)  
 7 月 28 日 芦別岳\*  
 9 月 21 日 北海道・室蘭  
 1916 年 (大正 5 年)  
 7 月 15~19 日 石狩・夕張岳; 25~30 日 大雪山; 某日 東旭川・旭山  
 10 月 26 日 紀伊・高野山  
 1917 年 (大正 6 年)  
 7 月 8 日 北海道・フラノ岳; 12~15 日 上フラノ岳; 13 日 フラノ岳; 28~30 日 大雪山; 30 日 大雪山・龍ヶ原; 31 日~8 月 2 日 忠別岳  
 8 月 1 日 石狩岳; 9~13 日 硫黄岳; 16~19 日 ニセイカウシュベ山; 某日 紀伊・西牟婁・新庄村  
 1918 年 (大正 7 年)  
 1 月 某日 紀伊・西牟婁・秋津川村  
 6 月 9 日 石狩・上川・神居岳  
 8 月 22 日 紀伊・稲成川\*  
 1919 年 (大正 8 年)  
 8 月 1 日 北海道・オプタテシケ山  
 1920 年 (大正 9 年)  
 7 月 10~15 日 乗鞍岳; 27~29 日 奥常念岳, 燕岳; 29 日 槍ヶ岳  
 [註] 乗鞍岳の採集品には「9 月中旬」と記入してあつたが, ノートにある「7 月 10~15 日」の方が妥当のようだ。

- 8 月 7~9 日 木曾・駒ヶ岳; 20~23 日 富士山; 30 日 白馬岳  
 1921 年 (大正 10 年)  
 7 月 21 日 信濃・有明山; 25 日 信濃・釜無川; 26 日 仙丈ヶ岳, 仙水峠; 26~28 日 甲斐・駒ヶ岳; 28 日 甲斐・鋸山, 赤石山糸・赤河原  
 8 月 12 日 礼文島; 15 日 利尻島; 18 日 礼文島  
 9 月 4 日 信濃・東筑摩・茶臼山  
 10 月 1 日 信濃・南安曇・穂高村; 9 日 紀伊・高野山  
 1922 年 (大正 11 年)  
 5 月 7 日 信濃・西筑摩・木租村・鳥居峠; 13 日 東筑摩・戸谷峯山; 19 日 南安曇・須砂士; 21~22 日 東筑摩・入山辺村・扉峠  
 6 月 4 日 信濃・東筑摩・鉢伏山  
 7 月 21 日 信濃・東筑摩・三才山峠, 鳥帽子岩, 入山辺村・蔵山; 24 日 仙丈ヶ岳; 26 日 甲斐・間ノ岳, 駒ヶ岳; 28 日 駒ヶ岳, 塩見岳; 29 日 本谷山; 30 日 赤石岳; 31 日 荒川岳\*, 東岳\*  
 8 月 6 日 甲斐・小太郎山, 横岳峠; 7 日 北岳; 10 日 朝与岳; 11 日 仙水峠; 16 日 白馬岳; 20 日 越中・朝日岳; 28 日 八ヶ岳  
 [註] 「横岳峠」の日附に誤りがあるため「小太郎山」と「横岳峠」とが同日になつたものと思われる。  
 9 月 1~2 日 信濃・常念岳; 2~3 日 蝶ヶ岳; 20 日 浅間温泉附近  
 10 月 21 日 東筑摩・武石峯  
 1923 年 (大正 12 年)  
 6 月 3 日 信濃・上伊那・中沢村・戸倉山  
 7 月 21~22 日 信濃・有明山; 23 日 東沢岳, 餓鬼岳; 27 日 仙丈ヶ岳; 28 日 甲斐・駒ヶ岳, 鋸山  
 8 月 5~6 日 信濃・大天井岳, 牛首山, 東天井岳; 6 日 横通岳; 7 日 槍ヶ岳; 8 日 奥穂高岳; 22 日 越中・黒岳(水晶山); 28 日 八ヶ岳; 31 日 信濃・諏訪・中山

- 9月 23日 信濃・諏訪・守屋山  
 某月 某日 紀伊・高野山  
**1924年** (大正13年)  
 7月 15~17日 中房温泉・信濃坂間; 22日 赤石山系・東岳, 樺村岳; 24日 鬼岳; 25日 聖岳; 26日 上河内岳; 31日 宝剣山  
 8月 1日 甲斐・駒ヶ岳; 8日 越中・剣岳  
**1925年** (大正14年)  
 4月 18日 信濃・西筑摩・神坂村  
 5月 30日 木曾・濁川  
 6月 14日 信濃・下伊那・新野峠  
 7月 14日 信濃・三ツ岳; 22日 木曾・御岳山・継子岳; 27~28日 木曾・駒ヶ岳  
 8月 2日 信濃・上伊那・戸台川上流; 5日 甲斐・北岳; 6日 白河内岳; 7日 赤森山; 8日 阿倍荒倉岳; 9日 裏塩見岳; 16日 北海道・大雪山・雲ノ平, 黒岳; 17日 桂月岳, 凌雲岳, 上川岳; 19日 鳥帽子岳; 20日 小泉岳・花ノ沢; 21日 大雪山・雲ノ平; 25日 小泉岳, 御蔵沢; 26日 石狩岳; 30日 小泉岳・南沢  
**1926年** (大正15年)  
 4月 18~20日 信濃・西筑摩・神坂村  
 8月 18日 大雪山・裾合平, 黒岳, 北鎮岳; 19日 永山岳, 小塚山; 21日 忠別岳・平ヶ岳; 23日 塩谷温泉, ニセイカウシウベ山・地獄沢; 25日 ニセイカウシウベ山頂, ハッ峯, 大屏風岩; 29日 同山・大箱; 30日 同山・タイコ岩の沢  
 9月 25日 信濃・上伊那・伊那川の谷  
**1927年** (昭和2年)  
 5月 23日 信濃・上伊那・三義村  
 7月 3日 上伊那・赤穂村; 13日 上高地; 27日 戸隠山; 28日 妙高山  
 8月 3日 木曾・御岳山; 8日 甲斐・国師岳; 18日 大雪山・北鎮岳; 19日 忠別岳; 20日 化雲岳; 21日 石狩川水源地, 沼ノ原; 25日 ニベツツ山; 26日 裏ニベツツ山; 29日 ユニ石狩岳  
 10月 1日 信濃・上伊那・七久保村; 3日 同村・念丈岳  
**1928年** (昭和3年)  
 7月 6~9日 赤石山系・聖山; 15日 上伊那・伊那里村・小瀬戸; 17日 ハケ岳; 25日 石狩・夕張岳  
 8月 12日 大雪山・雲ノ平; 14~21日 鳥帽子岳; 17日 平ヶ岳  
 9月 1日 白馬岳  
 某月 某日 松本郊外  
**1929年** (昭和4年)  
 7月 26日 樺太・清川山; 29日 突阻山  
 8月 1日 樺太・檜保山; 14日 国後島  
**1930年** (昭和5年)  
 7月 13日 美濃・恵那・恵那山; 19日 信濃・下高井・岩菅山  
 8月 3~6日 樺太島  
 9月 1日 穂高岳  
**1931年** (昭和6年)  
 7月 18日 信濃・下伊那・摺古木山  
 3日 陸中・早池峯山; 15~16 羽前・鳥海山; 18日 羽前・月山; 22日 羽前・朝日岳  
**1932年** (昭和7年)  
 7月 29日 千島・パラムシロ島・村上岳, 猫山; 31日 同島・赤岳  
 8月 3日 千島・パラムシロ島・大硫黄山; 9日 同島・阿天消; 10日 同島・三戸山, 新加熊別; 11日 アライト島・扇浦; 11~13日 同島・アライト山; 23日 シュムシュ島・村上崎, 城ヶ崎; 30日 パラムシロ島・スリバチ湾, 新加熊別  
**1933年** (昭和8年)  
 7月 29日 戸隠山  
 9月 10日 信濃・前小河内岳  
**1934年** (昭和9年)  
 9月 16日 信濃・下伊那・千代村  
**1935年** (昭和10年)  
 6月 3日 上野・赤城山  
 7月 22日 伊勢・御在所山; 24日 豊後・南海部・尺間村・尺間山  
 8月 4日 若狭・青葉山; 27日 豊後・南海部・青山村・黒沢  
 9月 17日 南海部・下堅田村; 20日 同郡・同村  
 (資源科学研究所)